実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	福岡県北九州市
事業細目名	国際競技大会開催
事業名	ワールドスケートボードストリート 2025 北九州 -グランドファイナル-
助成金額	153,849,000 円

令和７年度スポーツ団体スポーツ活動助成（国際競技大会開催）を活用して福岡県北九州市が開催する「ワールドスケートボードストリート 2025 北九州 -グランドファイナル-」の実施状況について調査を行いました。

本大会の国内開催は、2023 年の東京大会に続き２回目となり、約 45 ヵ国から 200 名のトップスケーターが集結しました。競技ルールは、45 秒の「ラン（滑走）」と「ベストトリック（技）」を組み合わせ、最終的にベストラン１本とベストトリック１本の合計スコアを競います。

スケートボード競技は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会での日本人選手の活躍をきっかけに注目度が高まりましたが、北九州市が本大会を誘致した背景には、若年層の人口流出が目立つ中、その対策の一環としてブレイキン、パルクールなどの若年層に人気なアーバンスポーツを中心に誘致し、人口流出の抑止に繋げたいという狙いがあったとのことです。

■助成の意義

今回の助成によりチケット価格を前回の東京大会より大幅に下げ、若年層にも手が届きやすい価格設定が可能となったそうです。また、助成金を大会の開催・運営費用に充てることで、北九州市の公募により小・中・高生 4300 名を無料招待し、希望校には参加人数に応じてバスを手配するなど、地域の子どもたちがハイレベルな大会に触れられる貴重な機会を提供できたとのことでした。その結果、決勝はチケットが完売するなど満員の中で大会を開催できたそうです。

さらに、海外メディアも入ることから、国内外に「北九州」の名前を広く発信することも本大会を誘致した大きな意義として捉えられていました。

■事業効果を高めるための取り組み

事業効果を最大化するため、チラシ・新聞・テレビ・ラジオなど多様な媒体での告知に加え、会場近くの小倉駅構内の装飾や市内小中学校へのチラシ配布など、積極的なプロモーションが展開されていました。また、メディア露出を高めるため、日本のトップ選手による市長表敬訪問や会見を実施するなど、大会への関心を高める工夫もされていました。

さらに、定期的な実行委員会の会議に加えて分科会も頻繁に開催し、関係者間での進捗共有や課題整理を丁寧に進めていたとのことです。

■その他

現在スケートボードを始める子どもたちが増えており、北九州市のスクールは予約が埋まるほどの人気で、体験会から継続希望者が出るなど裾野が広がってきているようです。また、北九州市では部活動の地域移行において競技の対象としてスケートボードが検討されるなど、競技普及としての動きも見られました。

■所感

調査当日は男子競技を視察しましたが、選手それぞれの独創的で高度なトリックが次々と繰り出され、会場は大いに盛り上がっていました。結果は女子の１・２位、男子は表彰台独占と日本人選手が素晴らしい成績を収め大会は幕を閉じました。今回お話しを伺う中で、大会に向けてのプロモーションの工夫や大会までの綿密な調整など、様々な道のりを経て大会の成功に繋がっていることを実感しました。本大会を通じてスケートボードを含むアーバンスポーツのさらなる発展が期待されるとともに、北九州市の魅力が国内外へ広く発信され、競技普及や地域振興につながることを願っています。

（令和７年 11 月 28 日往査）

（写真）ワールドスケートボードストリート 2025 北九州 -グランドファイナル-の様子



